

2021年11月4日

各位

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会
「航空宇宙システムのダイナミクスとデザイン」
代表 千葉正克

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会開催のご案内

2021年度の第2回研究会を以下のように開催させていただきます。

今年7月末に上梓の『新・航空機産業のすべてー「空飛ぶクルマ」から次期ステルス戦闘機までー』（日経BP）の著者である中村洋明氏に、民間超音速機やスペースプレーンなどについて講演を頂きます。

ご多忙のことと存じますが、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

2021年度 第2回研究会

日時：2021年11月25日(木) 14:35～16:05

会場：大阪府立大学大学院 工学研究科 B6棟 105教室

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

<https://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/access/>

講演：「民間超音速機の復活とスペースプレーンの実用化」

ー起業家達の挑戦ー

大阪府立大学客員教授、技術経営研究家

(元英国法人Silicon Sensing Systems Ltd. 取締役会長、

元住友精密工業専務取締役)

中村 洋明氏

講演概要：

初めての民間超音速機コンコルドの退役から18年、初飛行時期から数えると半世紀が経過する。民間ジェット輸送機の速度が1960年頃にマッハ0.8程度に達して以来60年の間ほとんど変わっていないのは、この間の技術の進化を考えると、明らかに不自然であるとも言えよう。しかし、漸く最近になって民間超音速機が幾つかのプログラムを通じて復活する状況が見え始めてきた。この状況について紹介する。

また、地上と宇宙空間の間を移動し「小宇宙旅行」などを提供するスペースプレーンの実用化が近年間近になってきた。この状況についても紹介する。併せて、この状況の中で大きな役割を果たす「再使用型ロケット」にも言及する。

以上の状況が、すべて起業家達の主導によって作り出されている点にも触れる。

参加費：無料 どなたでも参加いただけます。